

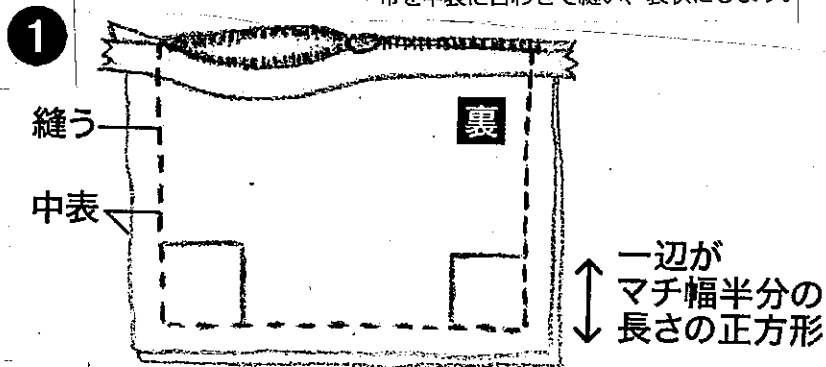
袋のマチの付け方3種類

ワキをぬいた後つくる。

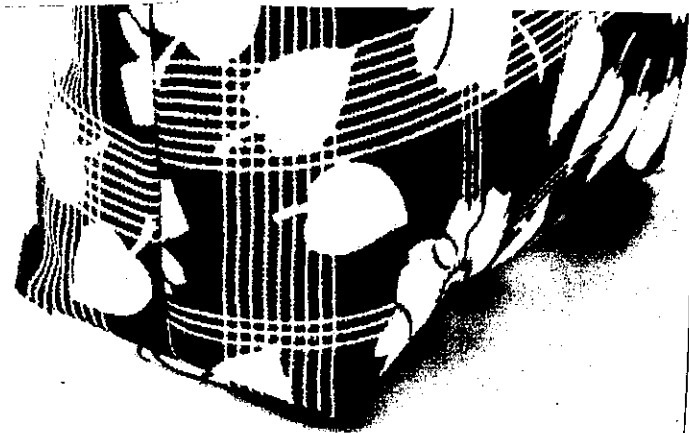
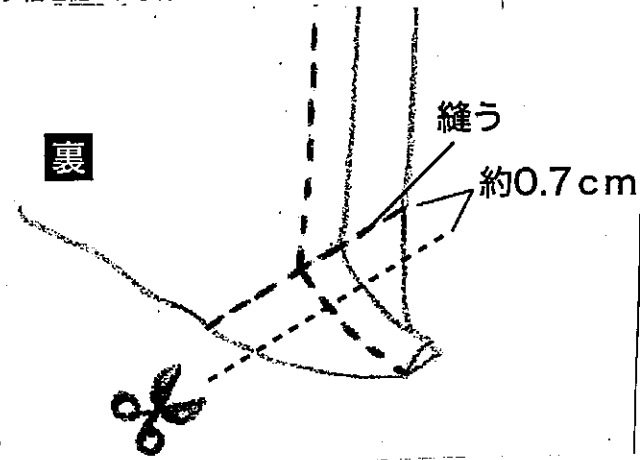
ワキをぬうときに一緒にぬう。

①一般的なマチ

布を中表に合わせて縫い、袋状にします。

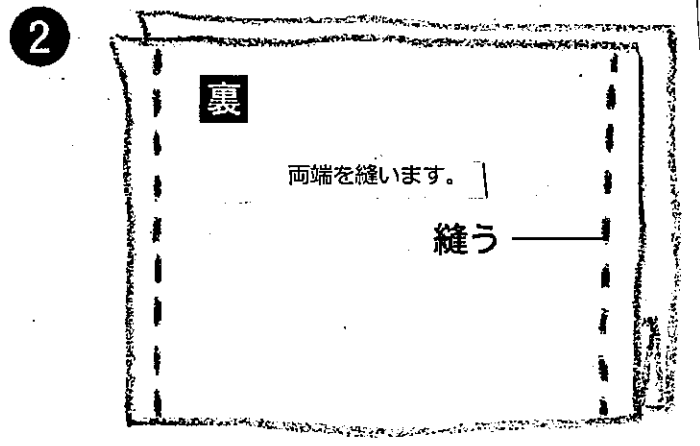
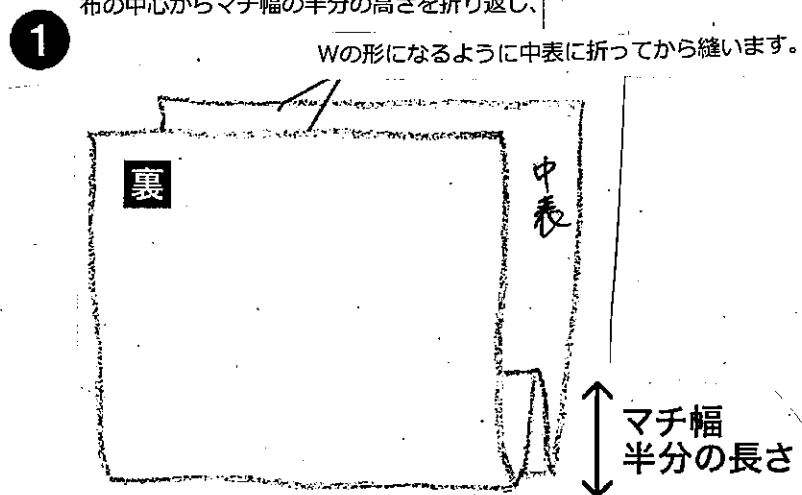


② 角の部分をつまみ、脇と底のラインを合わせるように折りたたみます。マチ幅を縫い、余分は必要に応じてカットします。

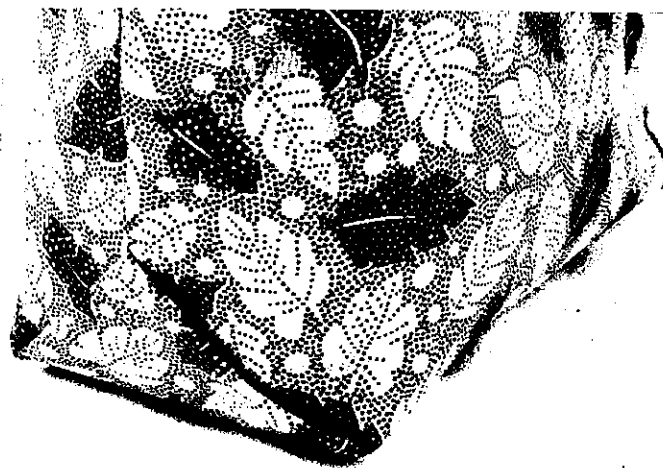


②ワキにぬいこむ (ワキに三角部分が見える)

布の中心からマチ幅の半分の高さを折り返し、Wの形になるように中表に折ってから縫います。

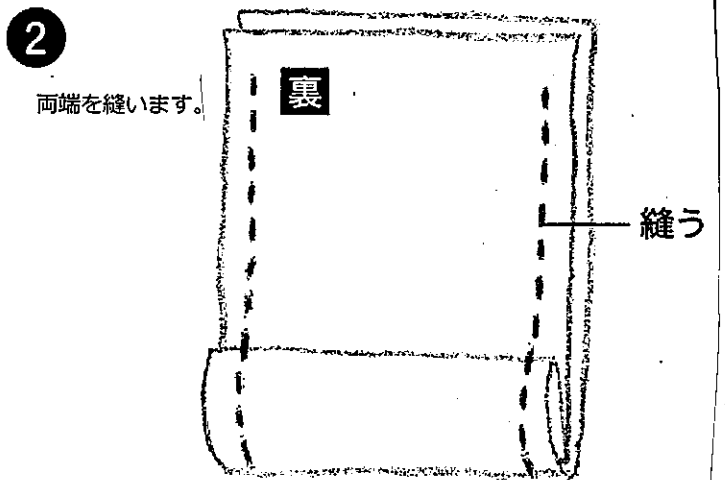
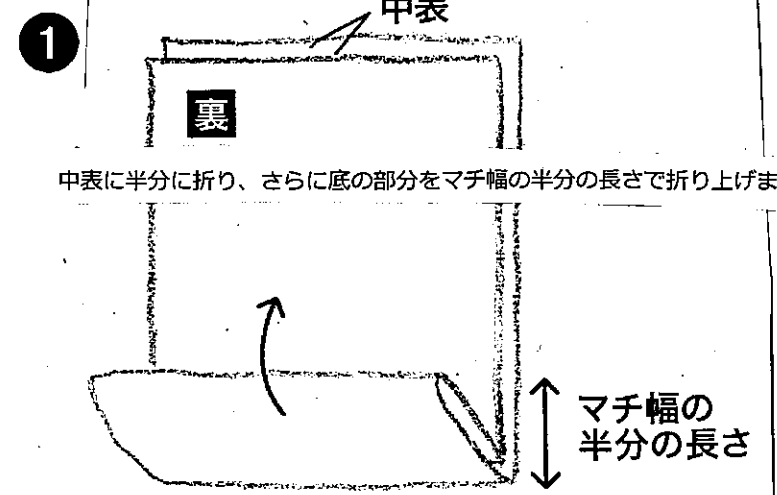


表に戻すと三角部分が見えます。

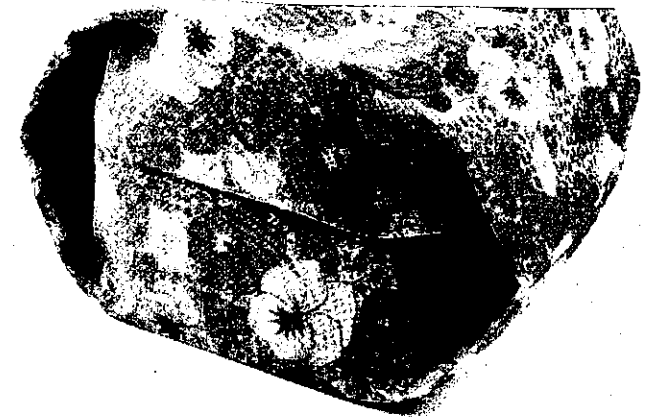


③底につくる (丸くなるイメージ)

① 中表に半分を折り、さらに底の部分をマチ幅の半分で折り上げます。



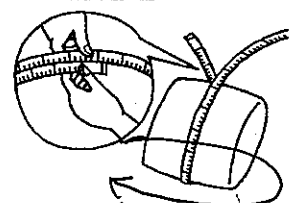
表に戻し、底から見ると、マチが現れます。底がだれないように、張りのある素材で作るのがオススメです。



マイバッグに入りたい物に合わせて、必要な布の大きさを見積もろう

名前 \_\_\_\_\_

メジャーで測る

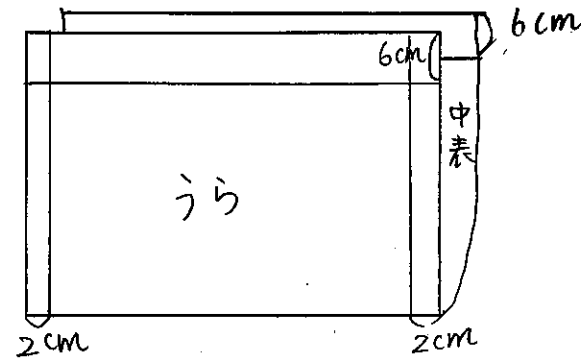


一周の長さ

横一周の長さ

必要な布の大きさは  
たて(     cm) × 横(     cm)

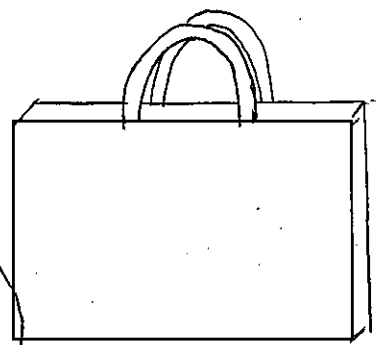
一周の長さ(     cm)  
+  
ゆとり 10cm  
+  
ぬいしろ 12cm  
||  
たて(     cm)



横一周の長さ ÷ 2  
(     )cm  
+  
ゆとり 5cm  
+  
ぬいしろ 4cm  
||

横(     cm)

この布で  
このくらいの大きさ  
になるよ。  
(イメージ)



ゆとりはぴったりにした場合小さく  
たくさん入れることもある場合大きくしてもいいね!

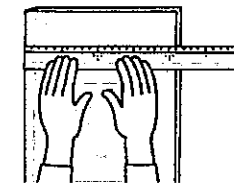
マイバッグに入りたい物に合わせて、必要な布の大きさを見積もろう

図2 布の大きさの決め方

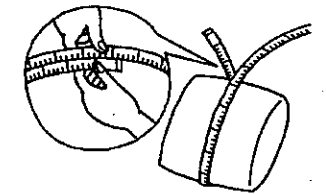
- ①入りたい物やおおいたいの大きさを測る。
- ②測った大きさにゆとりを加え、できあがりの大きさを決める。
- ③できあがりの大きさに紙を切る (型紙)。
- ④型紙を布にのせる。
- ⑤型紙にぬいしろ分を加え、布の大きさを決める。

●物の測り方

ものさしで測る



メジャーで測る



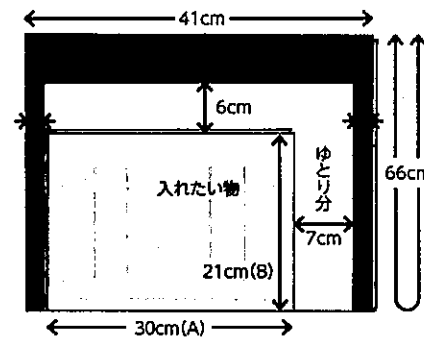
入りたい物によって  
何で測るか考えよう。

●トートバッグの場合(例)

よこ: ぬいしろ+入りたい物のよこの長さ (A) + ゆとり+ぬいしろ  
(例: 2+30+7+2=41cm)  
たて: (ぬいしろ+ゆとり+入りたい物のたての長さ (B)) × 2  
(例: (6+6+21) × 2=66cm)

●ためし作り

型紙が決まったら、型紙をもとに考えた布と同じ大きさの紙を用意し、ためし作りをすることもできる。



バッグとクッション  
カバーのゆとりの考  
え方は同じかな?



紙をテープなどでと  
めてふくろを作り、  
入りたい物が入るか  
確かめよう。